

東日本から被災地へ！ 命を守る鉄道ネットワーク

救援物資を無料輸送

JR貨物
全国通運連盟
被災自治体向けに

4月20日
交通新聞

JR貨物と全国通運連盟は18日、「平成28年熊本地震」で被災した自治体に対し、救援物資（救助用寄贈品）の無料輸送を実施すると発表した。両者による災害発生時の無料輸送は、阪神・淡路大震災（1995年1月）、東日本大震災（2011年3月）に次いで、全国のコンテナ貨物取扱駅から被災地最寄りのコンテナ貨物取扱駅まで輸送。荷送人の指定する集荷場所から貨物駅まで、貨物駅

から被災地までは利用運送事業者がトラックで輸送する。取扱期間は18日以内で、救援物資の輸送に際しては、当分の間、荷送人は、各県の災害対策本部などへ事前に連絡した上で、救援物資の受け入れを承認された企業など、荷受人は、救援物資の受け入れを表明している被災自治体、被災地の復旧状況に応じて、最寄りのコンテナ貨物取扱駅は変わる。利用条件は、運送を申し込む前に品名、数量、受け入れなどについて被災自治体と打ち合わせし、受け取り承諾を得た

ら翌日にいったん引き揚げ、その後作業の見通しが立ったことから18日に再び6人を派遣した。また、要請に基づき、脱線復旧横送り装置や搬送仮台車、保守用車の連結器などの各種復旧用機材をはじめ、乾パンなどの非常食約1万1000食、飲料水（500ミリ入りペットボトル）約1万2000本なども提供している。



貨物列車で救援物資輸送！

私たちの線路を貨物労組の仲間が 命を守る物資輸送を担っています！

「平成28年熊本地震」の支援物資の輸送が展開されています。

JR貨物労組の仲間は、救援物資輸送列車における臨時作業や、臨時仕業への乗務など、災害を乗り越えるために、日夜奮闘しています。命を守る救援物資輸送を安全第一で担っている貨物労組のみなさんに敬意を表します！

救援物資輸送列車は、私たちJR東日本の線路を走行します。列車の運行管理や線路設備の保守にあたられている東労組組合員の努力で、貨物列車の運行が支えられています。臨時作業等に対応されている組合員のみなさんにも敬意を表します。

東日本大震災の際、たしろかおるとJR総連の仲間が担った「命を守る救援物資輸送」が継承されています。第一線で奮闘する仲間をみんなで支えよう！そして、たしろかおると共に命を守る鉄道ネットワークを発展させよう！